

特集1

今年度の県政はいろいろな年でございました

今年も、もう十二月。皆さんの二〇〇二年はどんな一年でしたか。県では、「ユニバーサルデザイン振興指針」の策定や「市町村合併」の動きが進むなど、新しいくまもとづくりに取り組んだ一年でした。



1月

■来年四月「あさぎり町」誕生が決定

中球磨五か町村で合併の議決が行われ、来年四月の「あさぎり町」誕生が決定。このほか県内各地で合併協議会が設置されるなど、市町村合併に向けた機運が高まっています。

2月

■川辺川ダムを考える住民討論集会の開催



第4回川辺川ダムを考える住民討論集会

昨年十一月、ダム以外でも流域住民の生命・財産を守れるとする代替案が発表されたのを受け、県民の皆さんに見える形で公正に論議する場として開催し、以後、回を重ねているところです。

■「くまもとユニバーサルデザイン振興指針」の策定

「すべての人が暮らしやすい社会」の実現を目指すユニバーサルデザイン（＝UD）。このUDの考え方をさまざまな分野に取り入れ、県民運動として展開していくため、そのよりどころとなる指針を作りました。また、身近なところでUDに触れていたいただくために、九月にはUDファッショニングフェアを開催、県内外から約二千人が来場しました。

■「熊本県雇用創出対策」の策定

新たな雇用の場の創出、時代に適応した職業訓練・人材養成、県民を守るセーフティネットの充実を柱とした雇用創出対策を取りまとめました。厳しい雇用情勢が続く中、この対策に沿った取り組みを進めています。

■公共施設への県産木材利用を促進

県が率先して県産木材の利用を進めるため、県が行う公共施設整備は原則木造とすることなどを盛り込んだ基本方針や利用計画を決定しました。

3月

■ISO14001の認証取得

県庁組織警察本部を含む県庁組織に、環境管理システムの国際規格の認証を取得しました。県の事務・事業全般において、環境への配慮を徹底して行っています。



知事への登録証授与

4月

■歴史公園鞠智城・温故創生館が開館



温故創生館

県立装飾古墳館分館として菊鹿町にオープン。総合学習施設として、多くの利用者でにぎわっています。

■熊本県男女共同参画推進条例施行

委員を一般公募した男女共同参画審議会を新たに設けるとともに、男女共同参画施策に関する苦情処理制度を開始するなど、条例に基づく取り組みを進めています。

■くまもと県民交流館パレオオープン



「パレオ」総合受付

熊本市手取本町の市街地再開発ビル「テトリアくまもと」が完成し、その九階、十階および一階の一部に「パレオ」がオープンしました。NP O・ボランティア活動、男女共同参画社会づくり、生涯学習活動、就業支援など、県民の皆さんの自発的で主体的な活動を応援する拠点施設として、多くの皆さんに利用されています。

■姉妹友好提携二十周年

県と姉妹友好提携を結んでいる中国広西壮族自治区自治区、米国モンタナ州、韓国忠清南道の三地域すべてが提携二十周年を迎え、記念事業などを行いました。

5月

■「松島有料道路」開通

熊本市圏と県内主要都市を九十分で結ぶ「九十分構想」のこの実現に向け整備を進めている「熊本天草幹線道路」の初めての開通区間となりました。



「松島有料道路」開通式

■W杯サッカーベルギー代表チームの熊本キャンプ



コスタリカ代表チームとの親善試合

多くの県民の皆さんのご協力をいただき、ベルギー代表チームに最高の環境を提供することができました。また、熊本のPRや経済波及効果、スポーツの振興、国際交流の促進といった面でも大きな成果がありました。

7月

■新たな子育て・介護支援施策を推進

子育てや介護にあたる方の負担軽減・ゆとり創出を目的とする「レスパイト・ケア」施策を推進しています。その一つとして、夏休みに障害児を預かるモデル事業を菊池市と松橋町で新たに開始しました。



モデル事業での家族と知事の意見交換